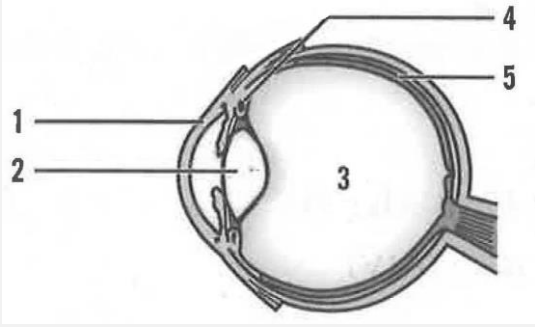
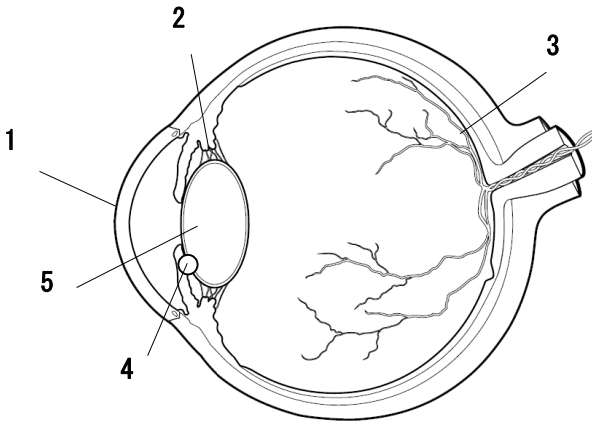
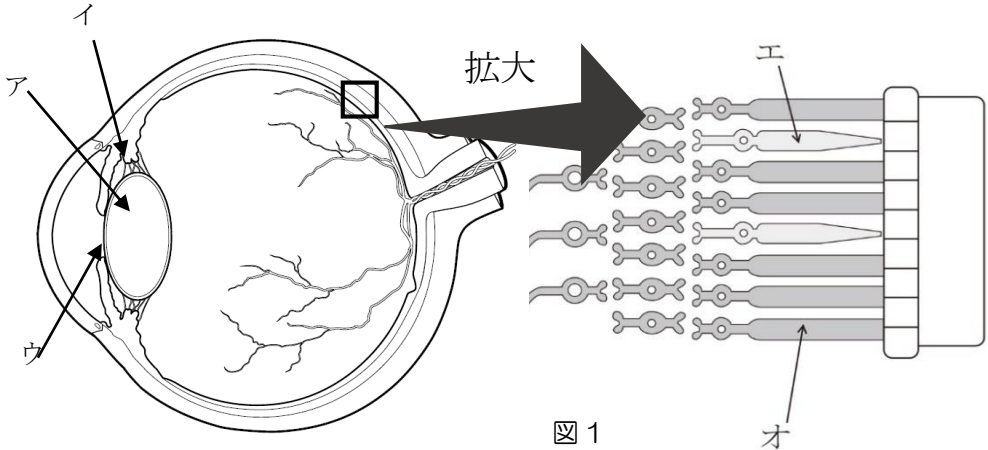
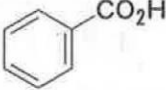
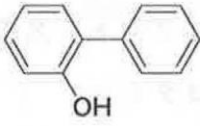
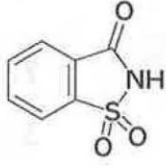
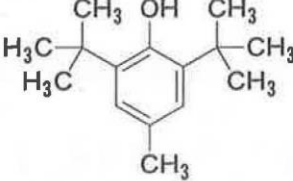
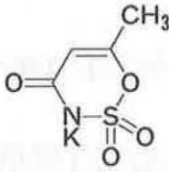
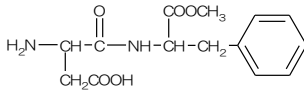
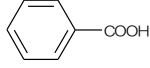
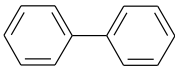
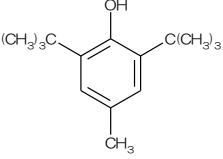
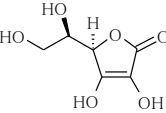


必須問題

<p>問 11 (生物)</p>	<p>下図はヒトの眼球断面図である。1～5のうち水晶体はどれか。1つ選べ。</p> 
<p>メディアやま 全統模試 I</p> <p>機能形態学 感覚器 (眼)</p> <p>全統模試 II</p>	<p>問 11 眼の断面図を以下に示す。眼房水を産生するのはどこか。1つ選べ。</p>  <p>図 1 は眼の矢状断面図である。また図 2 は、図 1 の一部を拡大したものである。この図についての記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p>  <p>1 図 1 (ア) は毛様体筋の収縮によって肥厚し、近くに焦点が合う。</p>

問 15 (生物)	<p>貪食能を有し、単球に由来する細胞はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 B細胞 2 ヘルパーT細胞 3 形質細胞</p> <p>4 マクロファージ 5 肥満細胞</p>
全統模試Ⅱ 問 12	<p>マクロファージの前駆細胞はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 単核 2 赤芽球 3 B細胞 4 巨核球 5 リンパ球</p>
問 17 (衛生)	<p>酸化防止剤に指定されている食品添加物はどれか。1つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5</p> </div> </div>
直前講習会	<p>構造式 a～e の食品添加物の用途について、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>a</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>b</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>c</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>d</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>e</p> </div> </div> <p>a 甘味料 b 酸化防止剤 c 防かび剤 d 着色料 e 保存料</p>
問 18 (衛生)	<p>我が国で遺伝子組換え食品として販売・流通が認められていないのはどれか。1つ選べ</p> <p>1 大豆 2 米 3 トウモロコシ 4 パパイア 5 アルファルファ</p>
全統模試Ⅰ 問 18	<p>我が国において、現在流通が認められていない遺伝子組換え作物はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 光合成能力の高いイネ 2 除草剤耐性の大豆</p>
全統模試Ⅱ 問 17	<p>3 除草剤耐性のナタネ 4 害虫抵抗性のジャガイモ</p> <p>5 害虫抵抗性のトウモロコシ</p>

問 19 (衛生)	最近 10 年間 (平成 17 年以降) で、我が国において、発生患者数が最も多い食中毒の病因物質はどれか。 1 つ選べ。 1 黄色ブドウ球菌 2 カンピロバクター・ジェジュニ/コリ 3 サルモネラ属菌 4 腸管出血性大腸菌 (ベロ毒素産生) 5 ノロウイルス																									
メディアやま	食中毒：ノロウイルス 下表は、病因物質判明の食中毒事件、患者数を表したものである。ア～エは、(A) ボツリヌス食中毒、(B) カンピロバクター食中毒、(C) ノロウイルス食中毒、(D) 植物性自然毒のいずれかである。ア～エにふさわしい (A) ~ (D) の食中毒として正しい組合せはどれか。 <p style="text-align: right;">平成 20 年 (2008 年)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数 (件)</th> <th>件数 (%)</th> <th>患者数 (人)</th> <th>患者数 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>0</td> <td>0.0</td> <td>0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>509</td> <td>39.8</td> <td>3,071</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>303</td> <td>23.7</td> <td>11,618</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>91</td> <td>7.1</td> <td>283</td> <td>1.2</td> </tr> </tbody> </table>		件数 (件)	件数 (%)	患者数 (人)	患者数 (%)	ア	0	0.0	0	0.0	イ	509	39.8	3,071	13.3	ウ	303	23.7	11,618	50.5	エ	91	7.1	283	1.2
	件数 (件)	件数 (%)	患者数 (人)	患者数 (%)																						
ア	0	0.0	0	0.0																						
イ	509	39.8	3,071	13.3																						
ウ	303	23.7	11,618	50.5																						
エ	91	7.1	283	1.2																						
問 24 (衛生)	自然放射線被曝のもととなる放射性核種はどれか。1 つ選べ。 1 ^{30}Ar 2 ^{90}Sr 3 ^{131}I 4 ^{137}Cs 5 ^{239}Pu																									
メディアやま	核種と集積性 • ^{40}K (β^- 線と γ 線) 天然放射性核種 • ^{60}Co (β^- 線と γ 線) ジャガイモの発芽防止・医療器具の滅菌・輸血血液への放射線照射： γ 線を利用 • ^{131}I (β^- 線と γ 線) 半減期：8 日、甲状腺に集積、甲状腺機能亢進症・甲状腺癌の治療 • ^{137}Cs (β^- 線と γ 線) 半減期：30 年、筋肉に集積																									
問 25 (衛生)	閉鎖性水域における富栄養化の制限因子はどれか。 1 つ選べ。 1 カリウム 2 亜鉛 3 鉄 4 硫黄 5 リン																									
メディアやま	富栄養化の原因となる制限元素には、生活環境の保全に関する環境基準が定められている。																									
問 29 (薬理)	脳梗塞の際に産生されるフリーラジカルを消去し、脳保護作用を示す薬物はどれか。1 つ選べ。 1 ファスジル 2 オザグレル 3 アルガトロバン 4 ウロキナーゼ 5 エダラボン																									
全統模試 I	問 32 エダラボンの作用機序はどれか。1 つ選べ。 1 Rho キナーゼ阻害 2 α 受容体遮断 3 フリーラジカルの消去 4 ドパミン D_2 受容体遮断 5 ロイコトリエン受容体拮抗																									

問 30 (薬理)	<p>ドパミンD₂受容体の部分刺激薬で、統合失調症の陽性症状と陰性症状を改善するのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 プロモクリプチン 2 スピペロン 3 ハロペリドール 4 スルピリド 5 アリピプラゾール</p>
メディヤマ	<p>統合失調症治療薬</p> <p>• アリピプラゾール：D₂受容体部分アゴニスト、5-HT₂受容体アンタゴニスト</p>
直前講習会	<p>統合失調症治療薬</p> <p>アリピプラゾールは、ドパミンD₂受容体に対してアゴニスト活性とアンタゴニスト活性を有し、統合失調症に用いられる。</p>
問 36 (薬理)	<p>血小板のプロスタノイド IP 受容体を刺激して、血小板凝集を抑制するのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ナファモスタット 2 チクロピジン 3 ダルテパリン 4 ベラプロスト 5 シロスタゾール</p>
直前講習会	<p>血液系に作用する薬物</p> <p>ベラプロストナトリウムは、プロスタノイド IP 受容体を介して抗血小板作用を現す。</p>
問 40 (薬理)	<p>抗ウイルス薬ラミブジンが阻害する酵素はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ノイラミニダーゼ 2 インテグラーゼ 3 逆転写酵素 4 HIV プロテアーゼ 5 チミジンキナーゼ</p>
全統模試Ⅱ	<p>問 160 肝炎治療に用いられる薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>2 ラミブジンは RNA 依存性 DNA ポリメラーゼを阻害し、B 型肝炎の治療に用いられる。</p>
直前講習会	<p>抗ウイルス薬</p> <p>ラミブジンは、ウイルスの RNA 依存性 DNA ポリメラーゼを阻害し、B 型肝炎ウイルスの増殖を抑制する。</p>
問 45 (薬剤)	<p>体内動態が線形 1-コンパートメントモデルに従う薬物を経口投与した場合、最高血中濃度到達時間が遅延する原因として正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 吸収速度定数の増大 2 投与量の低下 3 分布容積の低下 4 消失速度定数の低下 5 吸収率の増大</p>
メディヤマ	<p>薬物動態学</p> <p>1-コンパートメントモデルの計算 (グラフ)</p> <p>• 量的バイオアベイラビリティ F と肝抽出率 Eh の計算</p> <p>• 速度的バイオアベイラビリティのグラフ (t_{max} は、ka と ke のみ依存する。)</p>
問 46 (薬剤)	<p>全身クリアランスが 50L/h である薬物を 10 mg/h の速度で点滴静注した場合の定常状態における血中濃度 (ug/mL) に最も近い値はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 0.2 2 0.5 3 2 4 5 5 50</p>
メディヤマ	<p>• 点滴投与速度の計算</p>
直前講習会	<p>シクロスポリン注射液を体重 60 kg の患者に 1 日量 4 mg/kg で静脈内持続点滴したときの定常状態の全血中濃度が 250 ng/mL であった。この患者のシクロスポリン全身クリアランス (L/hr) として最も近い値はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 0.025 2 0.40 3 0.96 4 25 5 40 6 960</p>

問 49 (薬剤)	不揮発性の電解質を溶解させた希薄水溶液において、溶質の濃度上昇とともに値が減少するのはどれか。1つ選べ。 1 イオン強度 2 凝固点 3 沸点 4 浸透圧 5 溶質のモル分率
メディアやま	束一性 ・蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧
問 50 (薬剤)	有効成分を臼歯と頬の間で徐々に溶解させ、口腔粘膜から吸収させる剤形はどれか。1つ選べ。 1 口腔内崩壊錠 2 発砲錠 3 チュアブル錠 4 舌下錠 5 バッカル錠
メディアやま	製剤 ・バッカル錠
全統模試 I	日本薬局方において、有効成分を臼歯と頬の間で徐々に溶解させ、口腔粘膜から吸収させる製剤と定義されているのはどれか。1つ選べ。 1 バッカル錠 2 付着錠 3 ガム錠 4 舌下錠 5 トローチ錠
問 57 (病態)	心電図上 QT 間隔の延長を誘発する可能性が最も高い抗不整脈薬はどれか。1つ選べ。 1 メキシレチン 2 ベラパミル 3 アミオダロン 4 プロプラノロール 5 ジゴキシン
全統模試 II	問 330 68 歳男性。不整脈治療のためアミオダロン塩酸塩錠の使用を検討している医師から、適正使用について薬剤師に問い合わせがあった。薬剤師が行う情報提供の内容として、正しいのはどれか。2つ選べ。 1 心不全の患者に対して用いることができます。 2 QT 時間が延長している患者に対して、積極的に用いることができます。 3 バルデナフィルを服用中の患者にも使用が可能です。 4 他の抗不整脈薬が無効な場合に用いることができます。 5 副作用の間質性腎炎に注意してください。
問 58 (病態)	クッシング症候群の臨床症状及び所見に該当するのはどれか。1つ選べ。 1 低血圧 2 低血糖 3 中心性肥満 4 筋力増強 5 皮膚の肥厚
直前講習会	クッシング症候群の病態に関する記述のうち、 <u>誤っている</u> のはどれか。1つ選べ。 1 満月様顔貌 2 中心性肥満 3 高カリウム血症 4 耐糖能異常 5 無月経

問 59 (病態)	<p>中枢性尿崩症の病態について、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 オキシトシンの分泌が低下する。 2 尿浸透圧が上昇する。 3 バソプレシンの分泌が低下する。 4 近位曲尿細管が障害される。 5 血清 Na 値が低下する。
メディやま 全統模試 I	<p>尿崩症</p> <p>問 185 尿崩症に関する記述のうち、<u>誤っている</u>のはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 続発性尿崩症が過半数を占める。 2 多尿が認められる。 3 低張尿が認められる。 4 水制限試験（3%体重減少法）で尿浸透圧が血漿浸透圧より高くなれば本症を疑う。 5 バソプレシン負荷試験で尿浸透圧が血漿浸透圧より高くなれば中枢性尿崩症を疑う。
問 60 (病態)	<p>低血糖の典型的な症状及び状態に該当しないのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 動悸 2 体温上昇 3 意識レベルの低下 4 発汗 5 頭痛</p>
全統模試 I	<p>問 63 低血糖の初期症状として、<u>誤っている</u>のはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 空腹感 2 振戦 3 徐脈 4 動悸 5 冷や汗</p>
問 61 (病態)	<p>メニエール病の典型的な病態及び症状に該当しないのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 難聴 2 耳鳴 3 浮動性めまい 4 眼振 5 耳閉感</p>
全統模試 II	<p>問 65 メニエール病について、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 内耳を満たすリンパ液が減少し、発症すると考えられている。 2 ストレスは発症に関与しない。 3 中枢性の非回転性めまいが認められる。 4 難聴を認めることはない。 5 アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物が用いられる。

<p>問 63 (病態)</p>	<p>ハチ刺され等に起因するアナフィラキシー反応に対し自己注射で用いられる昇圧薬はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ドブタミン塩酸塩 2 ドパミン塩酸塩 3 フェニレフリン塩酸塩 4 アドレナリン 5 イソプレナリン塩酸塩</p>																		
<p>全統模試 I</p>	<p>問 296-297 35 歳、女性。夏休みを利用して登山に出かけた。登山口付近でハチ(スズメバチと思われる)の大群に遭遇し、何匹かに顔を刺された。その後 5 分も経たないうちに咳込みが激しくなり呼吸苦を訴え、意識が消失して、その場に倒れた。同僚が脈を取ったが触れなかった。携帯電話連絡で救急車を要請し、即座に救急病院に搬送された。病院到着時、収縮期血圧は 60 mmHg で、拡張期血圧は測定できなかった。意識はもうろうとして、かなりの呼吸苦を訴えている。以下の問いに答えよ。</p> <p>問 296 (病態・薬物治療)</p> <p>この患者にまず投与すべき薬剤はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ノルアドレナリン 2 アドレナリン 3 アミノフィリン 4 ドブタミン塩酸塩 5 サルメテロールキシナホ酸塩</p>																		
<p>全統模試 II 問 182</p>	<p>アナフィラキシーショックに関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 死亡原因として薬剤によるものが最多である。 2 非免疫学的機序で発生する場合がある。 3 血圧上昇を伴う。 4 皮膚症状を伴うことはまれである。 5 第一選択薬として副腎皮質ステロイド性薬が用いられる。</p>																		
<p>問 73 (法規)</p>	<p>薬剤師法において、薬剤師が、販売又は授与の目的で調剤したときに、患者又は現にその看護に当たっている者に対して、情報の提供とともに行わなければならない。1つ選べ。</p> <p>1 療養の方法の指導 2 薬学的知見に基づく指導 3 療養上の世話 4 処方箋の写しの交付 5 疑義照会の有無の告知</p>																		
<p>直前講習会</p>	<p>薬剤師は、調剤した薬剤に関する必要な情報を提供し、必要な薬学的知見に基づく指導を行わなければならない。</p>																		
<p>問 76 (法規)</p>	<p>長期大量投与により網膜症を生じて、薬害の原因となった医薬品はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ソリブジン 2 クロロキン 3 サリドマイド 4 ペニシリン系抗生物質 5 アミノピリン</p>																		
<p>全統模試 I 問 76</p>	<p>我が国に重大な健康被害をもたらした社会問題となった薬物とその健康被害の組み合わせのうち、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <table border="1" data-bbox="443 1648 1264 1939"> <thead> <tr> <th></th> <th>薬物</th> <th>健康被害</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>クロロキン</td> <td>視力障害</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ペニシリン注射剤</td> <td>B 型肝炎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ストレプトマイシン</td> <td>無菌性髄膜炎</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>サリドマイド</td> <td>難聴</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>クロラムフェニコール</td> <td>四肢奇形</td> </tr> </tbody> </table>		薬物	健康被害	1	クロロキン	視力障害	2	ペニシリン注射剤	B 型肝炎	3	ストレプトマイシン	無菌性髄膜炎	4	サリドマイド	難聴	5	クロラムフェニコール	四肢奇形
	薬物	健康被害																	
1	クロロキン	視力障害																	
2	ペニシリン注射剤	B 型肝炎																	
3	ストレプトマイシン	無菌性髄膜炎																	
4	サリドマイド	難聴																	
5	クロラムフェニコール	四肢奇形																	

問 79 (法規)	<p>医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 GLP 2 GCP 3 GMP 4 GVP 5 GPSP</p>												
直前講習会	<p>【規範】</p> <table border="1"> <tr> <td>GLP</td> <td>Good Laboratory Practice 「医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準」。 GLP が適用されるものは、毒性試験及び安全性薬理試験の一部である。</td> </tr> <tr> <td>GCP</td> <td>Good Clinical Practice 「医薬品の臨床試験に関する実施の基準」。 臨床試験の実施に関する遵守事項を定め、治験が倫理的配慮（ヘルシンキ宣言）のもとに科学的に適正に実施されることを目的としている。 GCP は製造販売後臨床試験にも適用される。</td> </tr> <tr> <td>GMP</td> <td>Good Manufacturing Practice 「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準」。 多くの医薬品がバリデーションにより品質管理されている。バリデーションは、製造所ごとに作成される。バリデーションは省略できない。</td> </tr> <tr> <td>GQP</td> <td>Good Quality Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準」。</td> </tr> <tr> <td>GVP</td> <td>Good Vigilance Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準」。 市販直後調査の実施など製造販売後の安全管理に関する基準を定めている。</td> </tr> <tr> <td>GPS P</td> <td>Good Post marketing Study Practice : 「医薬品の製造販売後調査及び試験の実施の基準」。 再審査および再評価の申請資料の適合性基準となっている。 GPSP は製造販売後臨床試験にも適用される。</td> </tr> </table>	GLP	Good Laboratory Practice 「医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準」。 GLP が適用されるものは、毒性試験及び安全性薬理試験の一部である。	GCP	Good Clinical Practice 「医薬品の臨床試験に関する実施の基準」。 臨床試験の実施に関する遵守事項を定め、治験が倫理的配慮（ヘルシンキ宣言）のもとに科学的に適正に実施されることを目的としている。 GCP は製造販売後臨床試験にも適用される。	GMP	Good Manufacturing Practice 「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準」。 多くの医薬品がバリデーションにより品質管理されている。バリデーションは、製造所ごとに作成される。バリデーションは省略できない。	GQP	Good Quality Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準」。	GVP	Good Vigilance Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準」。 市販直後調査の実施など製造販売後の安全管理に関する基準を定めている。	GPS P	Good Post marketing Study Practice : 「医薬品の製造販売後調査及び試験の実施の基準」。 再審査および再評価の申請資料の適合性基準となっている。 GPSP は製造販売後臨床試験にも適用される。
GLP	Good Laboratory Practice 「医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施の基準」。 GLP が適用されるものは、毒性試験及び安全性薬理試験の一部である。												
GCP	Good Clinical Practice 「医薬品の臨床試験に関する実施の基準」。 臨床試験の実施に関する遵守事項を定め、治験が倫理的配慮（ヘルシンキ宣言）のもとに科学的に適正に実施されることを目的としている。 GCP は製造販売後臨床試験にも適用される。												
GMP	Good Manufacturing Practice 「医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準」。 多くの医薬品がバリデーションにより品質管理されている。バリデーションは、製造所ごとに作成される。バリデーションは省略できない。												
GQP	Good Quality Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準」。												
GVP	Good Vigilance Practice 「医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療機器及び再生医療等製品の製造販売後安全管理の基準」。 市販直後調査の実施など製造販売後の安全管理に関する基準を定めている。												
GPS P	Good Post marketing Study Practice : 「医薬品の製造販売後調査及び試験の実施の基準」。 再審査および再評価の申請資料の適合性基準となっている。 GPSP は製造販売後臨床試験にも適用される。												
問 83 (実務)	<p>院内感染の原因菌の1つであるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）の主要な感染経路はどれか。1つ選べ</p> <p>1 空気感染 2 飛沫感染 3 接触感染 4 昆虫媒介感染 5 垂直感染</p>												
全統模試Ⅱ	<p>問 88 感染経路のうち、主に接触感染する病原体はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 セラチア菌 2 結核菌 3 インフルエンザウイルス 4 麻疹ウイルス 5 水痘ウイルス</p>												
問 88 (実務)	<p>「1 件の重大事故の背後には 29 件の小さな事故があり、その背景には 300 件の事故に至らない事例がある。」という経験則はどれか。1つ選べ。</p> <p>1 ドミノの法則 2 ハインリッヒの法則 3 マーフィーの法則 4 ムーアの法則 5 メラビアン法則</p>												
メディアやま	<p>リスクマネジメント・安全管理（ハインリッヒの法則）</p>												